

野鳥の渡りカレンダー < 九州地方 >

1

ヤマシギ 薄暮性（はくぼせい）といって朝夕の薄暗い時間帯に活発に活動します。



2

タゲリはチドリの仲間です。猫のようなミューという声で気が付くことが多いです。派手な色彩ですが田んぼの中にと意外と目立たず解り難いです。



3

ヤツガシラ 九州では3月末頃が渡りのピークになります。たいへん美しいのでバードウォッチャーが一度は見たいと夢見る種類です！



4



フクロウやワシタカ類などの猛禽は冬から春にかけて寒い時期から繁殖を始める。



サンコウチヨウを見る秘訣は超早起き。意外と身の周りにいることに気付くことができます。

6

カッコウの仲間のジュウイチはコルリやオオルリなどに托卵します。雛の翼の内側には赤い口の模様があり、子どもの数を多く見せ、仮親に餌をたくさん運ばせます。



7

愛嬌者のセッカもじっくり観察すると様々な表情を見せてくれます。地上をネズミのように素早く走ることもできます。



ヤマセミは川の美しさのバロメーターです。少しでも水質が悪化すると姿を消してしまいます。



8

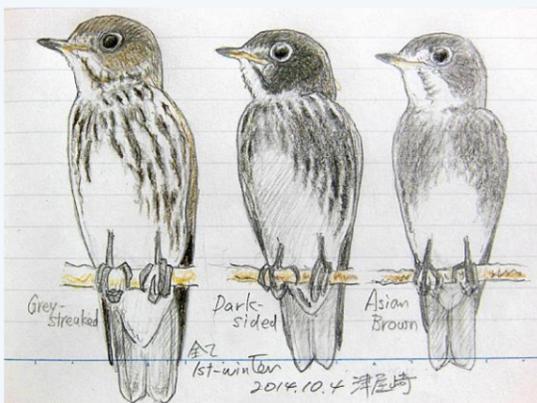
ヘラシギは現在非常に数が減っていて世界中で200~300羽程度と言われている。もっと少ないかもしれません。



9

10

左からエソビタキ、サメビタキ、コサメビタキ。ヒタキ3兄弟と言われています。



クロツラヘラサギは九州では比較的普通に見られますが、世界的には数が少ないたいへん貴重な種類です。



11

しばらく国内の記録が無かったナベコウですがここ数年は連続して長崎県諫早干拓に数羽が飛来し越冬するようになりました。



12